

平成29年度

苫小牧市こども国際交流事業

中学生ネーピア市派遣団



報告書



平成29年7月26日(水)～8月2日(水)

苫小牧市

目 次

派遣団名簿	2
事業概要	3
派遣日程表	4
ホストファミリー名簿	6
ニュージーランド・ネーピア市紹介	7
「こども国際交流事業を終えて」 団長 苫小牧市立沼ノ端中学校 校長 勝 洋一	9
「中学生ネーピア市派遣団に参加して」 リーダー 北海道登別明日中等教育学校 荒井 聖	14
研修日記	15
派遣団報告書	22
帰国報告会	32

派遣団名簿

団員

氏名	学校名	学年	備考
荒井 聖	登別明日中等教育学校	2年	リーダー
山本 舞羽	和光中学校	2年	副リーダー
井戸 静星	和光中学校	3年	
齊藤 鈴菜	沼ノ端中学校	3年	
三小田 芽以	緑陵中学校	1年	
原田 帆乃	青翔中学校	1年	
松本 蒼依	啓北中学校	2年	
山本 菜々美	青翔中学校	2年	
渡邊 莉央	勇払中学校	3年	
綿貫 陽香	光洋中学校	2年	

引率者

氏名	所属		備考
勝 洋一	沼ノ端中学校	校長	団長
中村 真紀枝	沼ノ端中学校	教諭	アドバイザー
川島 徹	苫小牧市総合政策部 政策推進室市民自治推進課	主事	事務局員



7月13日出発式

事業概要

●目的

国際姉妹都市へ訪問することで、若い世代の姉妹都市交流を活性化させる。また、ホームステイや市内見学を通して外国の歴史や文化に触れることで、異文化について理解し、国際的視野を持つ人材を育成する。

●訪問国（都市）

ニュージーランド（ネーピア・ロトルア・オークランド）

●協力

Napier City Council（ネーピア市）

Japan Society of Hawke's bay（ホークスベイ日本協会）

●事業日程

月 日	曜日	時 間	内 容	備 考
5月20日	土	13:00 ～15:15	選考面接 （作文・面接による選考）	
6月 1日	木	18:00 ～19:30	結団式・第1回事前研修 （説明会）	
6月 8日	木	18:00 ～20:00	第2回事前研修 （アイスブレイク・苫小牧講座・ニュージーランド講座・ネーピア講座・英会話講座）	ALT 講師・ネーピア市派遣職員による研修
6月15日	木	18:00 ～20:00	第3回事前研修 （英会話講座・交流内容の話合い・リーダー・副リーダー決定）	ALT 講師
6月22日	木	18:00 ～20:00	第4回事前研修 （交流内容の決定・交流の練習）	
6月29日	木	18:00 ～20:00	第5回事前研修 （交流の練習・歌、ダンス練習）	
7月 6日	木	18:00 ～20:00	第6回事前研修 （交流の練習・歌、ダンス練習）	
7月13日	木	17:00 ～20:00	市長表敬訪問・第7回事前研修 （報告会テーマ話合い・浴衣着付け・歌、ダンス練習）	
7月20日	木	18:00 ～20:00	第8回事前研修 （出発前総練習・浴衣着付け・諸連絡）	
7月26日 ～8月2日	水～ 水		ニュージーランド訪問	
8月上～ 中旬			帰国報告会準備 （グループ毎に集まり、報告資料作成）	
8月24日	木	18:00 ～20:00	事後研修 （報告会の練習）	
8月31日	木	18:30 ～20:00	帰国報告会	

平成29年度苫小牧市こども国際交流事業・中学生ネーピア市派遣団日程（確定版）

日次	月 日	現地時刻	場 所	内 容	移動	朝食	昼食	夕食
1	7月26日（水）	8:00	市役所	市役所集合	専用バス			
		8:30	市役所	一階ロビーにて出発セレモニー後、新千歳空港へ				
		10:30	新千歳空港	新千歳空港発 10:30 羽田空港着 12:05	NH56	-	空港各自	機内食
		13:50	羽田空港	羽田→成田移動	リムジンバス			
		18:30	成田空港	成田空港発 18:30	NZ90			
				(機中泊)				
2	7月27日（木）	8:05	オークランド着					
		11:15	オークランド発	オークランド空港発 11:15	NZ5007			
		12:15	ネーピア着	ネーピア空港着 12:15		機内食	空港各自	レストラン
		13:00-19:00	ネーピア市内	市内散策(水族館、パニアの像、アールデコの街並み)後、夕食	専用バス			
		19:00	ホテル	ホテル着(シーニック ホテル テ パニア)				
3	7月28日（金）	9:00	ホテル	ホテル発	専用バス			
		9:30	ネーピア市内	ネーピア市長表敬訪問・庁舎見学等				
		13:00	ネーピア市内	学校訪問(ネーピア・インターミディエイト・スクール)		ホテル	レストラン	ホストファミリー宅
		15:30	ネーピア市内	ホストファミリー出迎え、ホストファミリー宅へ	ホスト車			
			ファミリー	ホストファミリー宅にてホームステイ				
4	7月29日（土）			ホストファミリーと行動	ホスト車	ホストファミリー宅	ホストファミリー宅	ホテル
		18:00	ネーピア市内	ホテルにてお別れパーティ				
		20:30	ファミリー	夕食後、ホストファミリー宅にてホームステイ				
5	7月30日（日）	8:00	ホテル	ホストファミリー車でホテル集合(ホストファミリーとお別れ)	ホスト車			
		AM	タウポ	タウポ湖、ホカ滝など観光		ホストファミリー宅	レストラン	レストラン
		PM	ロトルア	ロトルアへ移動	専用バス			
		18:00	ロトルア	ロトルアでマオリ料理の夕食(マオリショー)				
		20:30	ホテル	ホテル着(スディマホテル レイク ロトルア)				

6	7月31日（月）	8:30	ホテル	ホテル発	専用バス	ホテル	レストラン	レストラン
		9:00	ロトルア市内	テプイア(間欠泉)、ワイトモ洞窟見学 昼食後、オークランドへ				
		18:00	オークランド	オークランド市内で夕食				
		20:00	ホテル	ホテル着(グランドミレニアム オークランド)				
7	8月1日（火）	8:00	ホテル	ホテル発	専用バス	ホテル	レストラン	レストラン
		8:30	オークランド市内	市内観光(スカイタワー、博物館、ショッピングモール等)				
		18:00	オークランド市内	オークランド市内で夕食				
		20:00	ホテル	ホテル着(グランドミレニアム オークランド)				
8	8月2日（水）	6:00	ホテル	オークランド空港へ	専用バス	ホテル	機内食	空港各自
		8:45	オークランド空港発	オークランド空港発 8:45 成田空港着 16:40 着後、リムジンバスで羽田空港へ	NZ99			
		20:40	羽田空港	羽田空港発 20:40 新千歳空港着 22:15	NH81			
		22:30	新千歳空港	空港迎いの団員は解散	専用バス			
		23:15	市役所着	駐車場着後、解散				



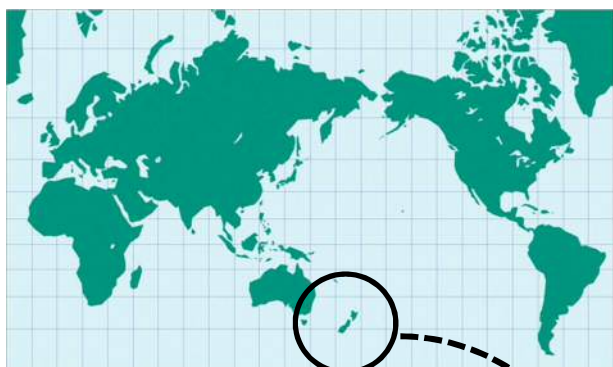
ホストファミリー名簿

団員氏名	ホストファミリー
荒井 聖・井戸 静星	Te Hiko Family
山本 舞羽	Brady Family
齊藤 鈴菜	O' Connor Family
三小田 芽以	Darroch Family
原田 帆乃	Vyle Family
松本 蒼依	Parker Family
山本 菜々美	Radovanovich Family
渡邊 莉央	Morris Family
綿貫 陽香	Rowe Family



7月29日 フェアウェルパーティー

ニュージーランド・ネーピア市紹介



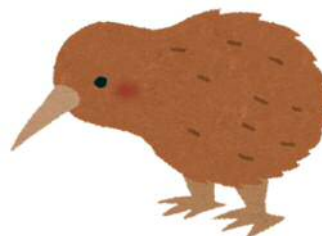
ニュージーランド

New Zealand

首都 ウェリントン
面積 約 27.5 万平方キロメートル
(日本の約 4 分の 3)
人口 約 476 万人(2017.3 統計局)



国鳥のキーウィ
が有名だよ！





ネーピア市はニュージーランド北島の東海岸沿いに位置し、ホークスベイ地方の中心都市として発展した港町です。南に隣接するヘイスティング市とともに「Twin Cities (ツインシティーズ)」と呼ばれています。

年間を通じて温暖で過ごしやすい地中海性気候で、国内有数の果物やワインの生産地となっています。ただし、南半球のため日本とは季節が逆で、最も暖かい夏の時期は1月。今回訪問した7月末～8月頭にかけては、冬の季節でした。

市街地は、20世紀初頭に欧米で流行した「ART-DECO (アールデコ) 様式」の建築物であふれていて、その美しい街並みを見るため、世界中から観光客が訪れています。

面積 106平方キロメートル (苫小牧市の約5分の1)

人口 約6万2千人 (2017.6月末現在 ネーピア市統計)

市長 ビル・ダルトン氏



ネーピア市役所



パニア像



アールデコの街並み

こども国際交流事業を終えて



団長
苫小牧市立沼ノ端中学校
校長 勝 洋一

【はじめに】

苫小牧市は、平成2年より苫小牧市こども国際交流事業として、友好都市である中国・奏皇岛市やフィリピン・マニラ市、ニュージーランド・ネーピア市などを訪問、子どもたちの海外派遣研修事業を進めてきました。過去27回で369名の児童・生徒を派遣しています。

今年度は、市内7中学校及び登別の中等教育学校から選出された10名の生徒と3名の引率者で派遣団を構成しました。参加生徒は、この派遣事業の目的である「訪問国の文化や伝統等の学習、ホームステイや学校訪問を通して、異なる文化の理解と広い視野を持つ」を達成するために、計8回の事前研修を実施してきました。その中で、ニュージーランドについての学習、英会話、自己紹介、現地の中学校やホームステイ先での発表の準備などに取り組み、研修を重ねる毎に目的意識と自覚を高めていきました。



【研修報告】

◇大いなる決意を胸に旅立つ

7月26日、天気は晴れ。午前8時を目処に大きなトランクを転がして団員が集まってきました。関係各位並びに保護者の皆様に見送られ、荒井リーダーの「行ってきます」を合図に一行はバスに乗り込みました。子どもたちは、「文化を学べます」「英語で挑戦します」「自覚を持って行ってきます」「楽しんでいきます」など、団員として参加できることへの感謝の気持ちと決意を胸に午前8時25分、市役所を後にしました。



羽田に着くと、蒸し暑さに一同絶句。北海道とは違う空気を味わいました。成田にリムジンバスで向かいました。新千歳空港から羽田、更に成田へと移動するにつれ、「いよいよ」という気持ちが団員の表情に現れてきました。ニュージーランド航空の無人発券機に悪戦苦闘しながらも、何とかチケットを手に入れ、さらに、向こうのドルに換金。そろそろ日常とは違う雰囲気になってきました。

◇ニュージーランドは、雨、ではなかった！

10時間の長旅、フライト中はほとんど眠れず(私は両サイド外国人に挟まれての完全アウェー状態でしたが寝ていました)、遅い夕食と早すぎる朝食(日本時間の午前2時)を平らげ、なんとか身体を現地時間(時差は3時間)に慣れさせていました。オークランド空港到着間近、窓から差し込むまぶしすぎる朝の陽射しに目を奪われながら着陸。その後、入国審査。一番右のちょっと怖そうなお姉さんは「果物を持って来てない?」「肉は?」「どこのホテルに泊まるの?」

と質問の嵐でした。全員多少ビビリながらも無事入国できました。時々見かけた警察犬？外国人のリュックに何度も飛びついたと思いきや、その方は係と共にどこかに消えていきました。ちなみに、私が肩にかけていた袋にも一度飛びつきましたが知らんぷり、でした。

オークランドからネーピアへ向かう飛行機は何とプロペラ機！約1時間のフライトで到着。「海外に来た〜っ！」という実感。季節は冬、少し肌寒いけれど、若い10名はそんなことはものともせず、国立の水族館へ。途中この日泊まるホテルの前を通り過ぎると大歓声。「こんなにすごいホテルに泊まれるの!？」水族館ではこの国にしかない飛べない鳥キウィバード(夜行性かつ嗅覚抜群)が暗闇を動く様子も観ることができ、一行大満足。その後、小さなペンギンたちのいる水槽へ。大きな鳥に襲われて片羽がなかったり、目が見えなかったり、身体のどこかに障がいを持っていたり、生まれながらに親に捨てられたりなど、なかなか大変な人生(鳥生?)を送ってきた彼らですが、それにもめげずにエサを取り合う姿は健気でほほえましく、そして遅しくもありました。



ネーピア市は、1931年の大地震で街が壊滅し、その後20ヶ月で復興を果たしましたが、その際に取り入れたのがアールデコ様式。(どこかで見たことがあるなあと思ったら、新中野のほ○でんの建物がこの様式でした)丘の上に立ち並ぶ高級住宅街ブラッフヒル、そこから見下ろす港の美しさにしばし感動しながら2日目は終わったのでした。

◇ネーピア市長表敬訪問、そして学校訪問～忘れじのエマさん

3日目、午前9時20分。市役所2階の市長室前に掲げられていた歴代市長の正装～肩から勲章をかけている姿に、時の市長としての矜恃を感じました。そんなところに市長が登場。とても気さくな方で趣味の車の話をたくさんしてくださいました。9台も持っていて、そのうち何台かは自分で修理して動くようにしたんだ、というお話をスマホの動画とともに見せてくださいました。市長さんのデスクの後ろにはとまチョップの人形がさり気なく置いてあり、その時々気配りも忘れない素敵な方でした。



午後は、ネーピア・インターミディエイト・スクールを訪問。私たちの案内役をしてくれたエマさん～今年13歳の中1。彼女の話す言葉が「んっ？どこかで聞いたことがあるぞ」と思ったら、なんと日本語、しかも流暢。お父さんが日本人でお母さんがニュージーランドの方、最近東京の世田谷から転校してきたと聞いてその理由を尋ねたところ、「お父さんが、ここニュージーランドは、子どもにとってとても環境がいい!と言って越してきました」だそうです。

ん～、その決断、なかなかできるものではありません。彼女は日本語もとても上手なのだけでも質問に対する受け答えや振る舞いが素晴らしく、自分でも言っていたが、「私は考え方がほとんど日本人です」、というよりはそれ以上。彼女がいてくれたおかげで私は個人的に気持ちが楽で困ったときは世田谷から来たエマちゃん頼り、でした。

訪問中は一人に一人案内役がついてくれ、学校を見学したり同世代の仲間とあいさつをかわしたり。その後、ある学級との交流会を持ちました。国歌、校歌の紹介、歓迎のあいさつをいただき、10名の団員の自己紹介へと続きました。あやとり、書道、折り紙などの日本の文化を伝えたり、プレゼントの交換をしたり、写真を撮ったりと和やかにすごしました。こちらのリクエストで男子が踊ってくれたマオリ民族のハカダンス(オールブラックスが



試合前に踊っているアレです)は迫力があり、見事でした。こちらでは、マオリの文化について学ぶ時間があると聞きました。途中、団員のはるかさんがギターを弾き、せいさんが歌を披露する場面もあり大いに盛り上がった交流会となりました。名残惜しく、別れがたく、何度も握手を交わしながら、「Good bye.」10名は、国境を越えた同世代の仲間たちとの交流を見事に成し遂げたのでした。

◇ドキドキのホームステイ開始

学校訪問を終え、いよいよホストファミリーとの対面。ファミリーが続々迎えに来ます。初めの一人にはなりたくないけれど、最後にもなりたくない。どんな家族が迎えに来てくれるのだろう。自分の英語は通用するのだろうか。期待と不安を抱えながら、待つこと10数分。運命の最初の人。．．どのファミリーも笑顔で迎えてくれ、とても気さくですぐに打ち解けていたようでした。以前、何かの機会にホームステイをするときには、「無口はだめ。何でもいから話しをすることが大切です」「Nice to meet you.その後自己紹介」「Yes, please. No, thank you. 意思表示をしっかりとすること」などなど、レクチャーを受けたことがありましたが、子どもたちは、．．(くわしくは、それぞれの経験談にて)



◇TMK48、丘巻のステージ!

4日目、引率団は朝10時から行動開始。古い刑務所跡をのぞき、海岸を歩き、アールデコ様式の建物を見ながら、車で15分程のワイナリーへ。昼食をすませて、街に戻り、日本人経営のアイスクリーム屋さんで、一言「うまい!」。と、食べてばかり。「こりゃ太るな」と思っていたのは私だけではないはず。

午後6時から、ホストファミリーとお別れの会。全員がそろったところで、中村先生の音頭で開演。食事、歓談の後、いよいよ練習の見せ所、本番がやってきました。浴衣姿もめんどい我らがTMK48の10名が登場すると拍手喝采、雨霰。自分たちで紹介しながら、“恋

ダンス”を踊り、“ふるさと”と“キセキ”を歌い、登場したとき以上の歓声を浴びながら、立派にステージを勤め上げたのでした。パーティーも最高潮となったところで、舞羽さんからのあいさつがあり、お開き、となっても別れを惜しみ、握手と抱擁の嵐、目頭を熱くしながら「Good by.」10名は言葉の壁を超えた貴重な何かを手にしたのだ、と感じました。



◇大自然の迫力に言葉を失う

朝の8時、少し眠そうな顔をしつつ、10名ホテルに集合。ファミリーの皆様、日曜の朝早くからの送り、ありがとうございました。別れを惜しみつつ、一行はバスに乗り込みタウボ湖



へ。雲ひとつない快晴。青い空は我々に微笑んでいました。さらに、ホカ滝へ。その迫力に心を奪われ、「すごい！」よく見ると滝壺の近くまでモーターボートで行くツアーがあり「乗りたい〜い」。お腹も減ってきて、ロトルアで昼食。ツアー添乗員の山田さんから昼食代15ドルをもらえると知ってバスの中は大歓声。イオンのフードコートのような所でそれぞれ思い思い

のものをチョイスして食べていました。ちなみに、私はワンタンメン。味は...想像におまかせいたします。

宿泊地、ロトルアの湖の近くではサンデーマーケットが行われていて、穏やかな天気の中、のんびりと露天の店先をぶらぶら。巨大な滑り台があり、入場料4ドル払って滑ってくるチャレンジャーも。その後一行はお土産屋さんへ。とってもキュートな店員さんの口車に乗せられ、大量の買い物をしたのでした。



ホテルではマオリ料理を食べた後にマオリショーを見学。途中、踊り体験もあり(私もハカダンスを踊り?ました)、楽しい一夜となりました。



◇「まだかな、まだかな」30分待った甲斐がありました！

昨夜泊まったホテルに飾られていたマオリの方々の肖像画を見た瞬間にアイヌ民族とのつながりを感じてしまいました。この日マオリ村テ・ピヤを訪れていっそうその思いを強くしました。(あくまでも個人的な感想です)この後、間欠泉を見学に行きましたが、なかなか噴き上がってくれません。あたた

かな岩の上に寝転んだり、あたりを見て回ったりすること30分。「んっ、音がするぞ！」見ると、かなり高くまで噴き上がっています。「ワーッ！」これかぁ、待った甲斐がありました。現地添乗員の山田さんが「ここまで上がったのは見たことがありません」と驚くほどの勢い。「すご〜い」を連発しながら、しばし間欠泉を眺めておりました。

昼食は山奥のローズランドスレストランに行き、200gのステーキをペロリ。ワイトモ洞窟では、細いアップダウンを幾度か過ぎるとオペラの演奏会や結婚式も行われるという広場へ。その後幻想的な土蚩を見てこの日の見学はおしまい。

◇明日は帰国．．．

この日はオークランド市内の観光が中心。朝は港をぐるりと見渡せる丘に登り、博物館、スカイタワーを見学して昼食会場のショッピングモールへ。私は再び“ソイラーメン”に挑戦しましたが．．．本物のラーメンが食べたい！と心の中で叫んでおりました。夜は鉄板焼き、お土産屋さんにも行きました。でも、明日は、帰国です。



【まとめ】

いよいよ研修も終わりに近づき、一行の心は「帰りたくな〜い」でも「お家になつかしい」の間で揺れ動いておりました。空港で現地ガイド、キムタク似の山田さんとの別れを惜しみ、大人になったらもう一度訪れることを約束し、帰国の途についたのでした。

日頃からのALTの先生方とのやりとりが子どもたちにコミュニケーションの力を付けていること、課題発見・解決能力、表現力、判断力など生きる力を育ててきた教育活動が実を結びつつあることを実感しました。子どもたちの成長は一人一人違います。すぐに研修の成果が現れる子もいれば、何年か経ち体現する子もいます。何よりも大切なのは、この研修を通して、ニュージーランドのバックグラウンド～他の国の歴史や文化、生活習慣などを理解すること、それがふるさと“とまこまい”のよさを再発見したり、ふるさと“とまこまい”を大切にしていこうとする心と行動につながり、『自立』と『共生』という視点からこれからの国際社会に生きる人となることです。研修に参加した子どもたちは、必ずやふるさと創生を担う青年たちへと成長していくと確信しております。

事前研修では熱心にご指導いただきましたALTのギデオン先生、ありがとうございました。8回におよぶ事前研修の企画運営、7泊8日の研修旅行、そして夏休み中に子どもたちを集めての事後研修と、子どもたちの一切を指導してくださいました市民自治推進課の川島さん、しきり役としての地位を欲しいままにした本校の中村先生、様々な気配りをしてくださった添乗員の川原さん、年寄りのくだらない話も真面目に聴いてくださった現地ガイドの山田さん、お世話になりました。心地よい疲れを味わうことができました。また、特段のご高配をいただきました市民自治推進課の皆様、本当にありがとうございました。

終わりにになりましたが、これからの時代を創造していく子どもたちに、その力を付けるべく貴重な体験をさせていただきました苫小牧市に心より厚く感謝申し上げます。研修報告といたします。

中学生ネーピア市派遣団に参加して

リーダー 登別明日中等教育学校 荒井 聖

私は今まで、一度も海外に行ったことがありませんでした。この研修に参加することを決意するまでは「テロが怖い」「日本が一番安全だ」などと考えてしまっていました。そんな時に私は海外に留学したことがある学校の先輩にテロは怖くないのかと聞いたところ、「海外旅行や留学などで行く先々にはどこもなにが起きるのか分からない危険が必ずある。」と言っていました。先輩の言葉により、私の今までの考えが全てなくなり、この研修に参加することを決意しました。面接では、すごく緊張しましたが、自分が思っていることをハッキリ言うことができました。

事前研修一日目は初めてのメンバーとの顔合わせで、緊張して少しぎこちなかったけれど、8回の事前研修を通し、メンバーの仲も深まり、ニュージーランドについての知識も深めることができました。事前研修では、主に話し合いや現地で発表するものの練習を行いました。私は習字のグループになりましたが、うまく書けずに苦戦しました。でも練習を重ねて、なんとか「絆」の文字を完成させることができました。

いよいよ、本研修となると少し不安になってきます。自分は生きて帰れるのか、英語を話すことができるのか、自分のことを自分でしっかりやることができるのか・・・、様々な思いはありましたが、行ってみるとその不安はすぐに消え、忘れるぐらい楽しかったです。本研修では事前研修と違い、メンバー一人ひとりの新しい個性を知り、より一層仲が深まったように感じます。

アールデコの街並みが写真で見るとよりキレイで、ゴミのポイ捨てが全く無くネーピア市民一人ひとりがこの街を大切にしているな、と感じました。ホームステイ先で食べた物が全ておいしかったり、色んな所に連れていってくれて沢山思い出を作り、楽しい時間となりました。学校訪問やマオリショーでは、「マオリ」に対するニュージーランドの熱い想いを感じました。タウポ湖、ホカ滝、ワイトモ洞窟の鍾乳洞と土ボタル、間欠泉など、行った先々で日本では感じることはできない、ニュージーランドの自然の素晴らしさを実感することができました。これらの思い出は全て私の人生の中の財産です。また、私だけではなく、行ったメンバー10人一人ひとりのものでもあるのです。

私の初めての海外は、とても良いものとなりました。私は将来、世界を中心とした職業に就きたいと思っています。そのための課題を今回の研修で見つけることができました。ニュージーランドは優しい人がたくさんいて、とても住みやすい国だと感じました。実際に海外に行ったことで、「また行きたい」、「もっと色々な国を見てみたい」と思うことができました。そのために、私は、今やらなければならない「勉強」を今まで以上に取り組み、英語の勉強に力を入れていきたいと思えます。

今回の旅で様々なサポートをしてくださった勝校長先生、中村先生、市役所の方々、添乗員の川原さん、ガイドの山田さん、そして、ネーピアの方々とホストファミリーの皆様。本当に感謝しています。どうもありがとうございました。



研修日記

～結団式・第2回事前研修～ 担当：山本菜々美

6月1日、結団式・第1回事前研修が行われました。結団式ではみんなと初めての顔合わせとなり緊張の中、一人ずつ自己紹介と意気込みを伝えました。また、団長及び引率者の紹介も行われました。その後の事前研修では、ニュージーランドの訪問スケジュールや、注意事項などを聞き、旅へのイメージがわいてきました。

6月8日、第2回事前研修では、始めにみんなとの交流を深める「サークルゲーム」をしました。色々なお題が出されて、たくさん会話をする事が出来ました。その後も「共通点探しゲーム」や「英語での質問ゲーム」をして、英語の会話がニュージーランドでもスムーズに聞き取れるようにしました。ニュージーランドに住んでいたギデオン先生から、よく使われる言葉を教わり、ネーピアに滞在していた吉田さんからも観光名所や美味しいアイスクリームのお店があるなどたくさんの情報をもらいました。

ニュージーランドではみんなと団結し、たくさんの感動と刺激を受けたいと思います。



～第3回・第4回事前研修～ 担当：荒井聖

事前研修3・4回目となると、少しずつ私達10人も慣れてきました。3回目ではギデオン先生の英会話講座や、訪問先や交流先で渡すプレゼントの準備、リーダー・副リーダー決めをしました。英会話講座では先生が話す英語をなかなか理解する事

ができず苦戦しましたが、一人一人が積極的に取り組んでいたのもみんなで協力する事ができました。リーダー決めの時、私は少し戸惑ってしまったけど「この際だからやってみよう！」と思い、手を挙げました。そしてリーダーが私で副リーダーが舞羽になりました。

4回目はホームステイ先が発表され、恋ダンスやそれぞれのグループでの発表練習をしました。恋ダンスでは覚えるのが難しい部分があり、とても大変でしたが、教え合い完成することができました。事前研修の回数も残りわずかとなり、ニュージーランドに行くのが、とても楽しみになってきました。



～第5回・第6回事前研修～担当：原田帆乃

始めは5回目の29日。この日はまず、前回の続きで学校交流の練習をしました。英語の自己紹介のプリントが宿題で出ていたので、団員のみんなと真紀枝先生とでチェックをしました。3年生は完ぺきです！！次に、書道や手遊びなどの練習に加え、その紹介も英語でするため家で調べてきた説明文も先生のチェックが入ります。また、第5回からは「恋ダンス」の練習に加え「ふるさと」の二部合唱の練習が始まりました。ふるさとはまだ練習が必要ですが恋ダンスはしっかり踊っていました。最後に、ホテルの部屋割りです。4泊過ごすペアなのでみんなドキドキしていました。

次は7日の6回目。この日は、交流先の学校に渡すプレゼント制作や歌、ダンスの練習をしました。歌は驚くほど上達していて、先生方は感動したそうです。



～第7回・第8回事前研修～担当：山本舞羽

今回は市長表敬訪問・浴衣の着付け・ダンス練習をしました。

市長表敬訪問では、3年生の3人が英語で自己紹介をしました。また、あやとり・手遊びを市長さんの前で披露しました。最後に、「恋ダンス」を披露しました。皆、緊張していましたが、しっかりと発表することができました。市長さんからは、「世界から見た日本・苫小牧市を五感を使い感じてきて下さい。」と激励をいただきました。表敬訪問後は浴衣を着て、ダンス・歌の練習をしました。

最後の事前研修である今回は、ダンス・歌練習、学校交流での発表・英語の自己紹介の練習をしました。

英語の自己紹介も、今ではみんなスラスラと言えるようになりました。また、ダンスや歌もいきぴったりに踊ったり歌ったりできるようになりました。学校交流の発表は、見やすくわかりやすくを心がけて笑顔での発表をしようと皆、練習に励んでいました。あと6日でニュージーランド研修！事前研修で学んだ事、練習したことを存分に発揮し、一生の思い出となる研修にしましょう！また、「世界から見た、日本や苫小牧」を五感を使い、感じていきましょう！



～訪問1・2日目（7/26-27）～担当：齊藤鈴菜

新千歳空港から出発し、成田空港からオークランド行きの飛行機に乗りました。オークランドから国内線に乗りネーピアへ。ネーピアに着いてバスに乗り、まず水族館へ行きました。水族館ではサメや海ガメ ペンギンやキウイバードもみることができました。

そして市内の散策です。ブラフヒルから海を眺め、アールデコの街並みを見ました。早めにホテルにチェックインをして、夕食までの時間にもう一度散策へ出掛けました。かわいいお店がたくさんあって楽しかったです。夕食はホテルのレストランで食べました。とってもおいしかったです。ホテルの部屋は窓がとても大きくて

海がすぐそばに見えました。

私にとっては初めての海外だったので不安だったのですが、想像以上に楽しかったので、次の日からの交流やホームステイが楽しみでした。



～訪問3・4日目（7/28-29）～担当：井戸静星

ニュージーランドの3日目は行事が盛りだくさんの一日でした。まずは市長表敬訪問。彼はとてもフレンドリーで、ネーピア市の歴史、苦小牧との関係、趣味の自動車について話し、ネーピア市と苦小牧市の結びつきの強さを感じることができました。

その後、市の図書館へ。書籍を借りることはもちろん、本やDVD、ゲームなどが売られていて、日本とは一味違う図書館を楽しみました。

午後からは Napier Intermediate School を訪問。ちょうど昼休みの時間で、生徒は自由にそれぞれの時間を過ごしていて開放感があり、日本とは校風が違うように感じました。私に学校を案内してくれた12歳の女の子は、易しい英語を使って一生懸命に学校を紹介してくれました。途中、何人も彼女の友達が私に話しかけてくれました。いざ日本語を英語で表現しようとするのが難しかったけど、彼女も助けてくれ、何とか会話することができ、自信に繋がりました。

授業は発表に緊張しましたが生徒たちの反応やノリがとても良く、段々と楽しくなってきました。男子生徒がサプライズでマオリの伝統舞踊の迫力あるハカダンスを踊ってくれました。彼らの本気のダンスは、とてもカッコよかったです。

ホストマザーが学校まで迎えに来てくれました。第一印象は少し怖かったけど、Mother も Father もとても話しやすかったです。Mother の家庭料理はジュージーで、ボリュームミーで、ニュージーランドの食文化を肌で体験することができましたが、お米はありませんでした。



～訪問5・6日目（7/30-31）～担当：綿貫陽香

5日目と6日目は、地球の荒々しい一面を垣間見る旅でした。一度見たら忘れられなくなるようなミントブルーの水を湛えながら、その圧倒的な水量と激しい流れですべてを呑み込むかのようなフカ滝。硫黄色のゴツゴツした岩肌が続き、草も生えないような大地から時折、噴火のごとく水がバーッと吹き上がるポフツ間欠泉。深い森の中で、キラキラ射し込む木漏れ日を見上げているかのような土ボタルが美しいワイトモ洞窟。まさに「畏敬」という言葉がぴったりな、息を呑む経験の連続でした。

そして、それらの自然と共存するマオリ族の歌とダンスは、どこまでも力強く美しく、ニュージーランドに生きる誇りと喜びにあふれているようで、大変素晴らしいものでした。特有の地熱を利用して作る蒸し料理も美味しかったです。一緒に踊ったポイダンスはとても良い思い出です。自然が文化を育み、伝統を育てる。日本に住む私は何を守り、何を伝えていけるのか？南十字星を見ながらそんな事を考えていました。



～訪問7・8日目(8/1-2)～担当：渡邊莉央

私たちは最終日、オークランドを観光しました。はじめにある丘の上に行きました。海やオークランドの街並み、ハーバブリッチなどを一望できて、すごくきれいな景色でした。次にオークランド博物館に行きました。マオリの歴史や日本の零戦などを見ることができました。零戦の迫力がすごかったです。次は昼食もかねて、オークランド最大のショッピングモールに行きました。日本にない店が沢山あってとても楽しかったです。観光最後はスカイタワーに行きました。都会だけど緑が沢山あって自然豊かな場所であることがわかりました。日本にない、新しい景色を見ることができてよかったです。夕食は日本食レストランで食べました。久しぶりの日本食だったのでいつもよりご飯がおいしく感じました。

そして日本に帰る日、オークランド空港から約10時間のフライトを終え、無事日本に着きました。沢山の思い出をつくり、刺激を受けた旅はとても楽しかったです。一生の宝物になりました。



～事後研修(8/24)～担当：松本蒼依

8月24日、久しぶりに全員で集合しました。ニュージーランドに行った日から何日も経っていたのですが、そのときと変わらない雰囲気とても賑やかでした。

今回の内容は、報告会の準備でした。パワーポイントや文章が終わっていない人もいて、急いでやっていました。そして、AグループとBグループがそれぞれ発表の練習をしました。1グループ30分を目標に練習しました。最初は、突っかかりたりしてグダグダでしたが、練習を重ねて上手くなりました。さらに、10人の仲の良さも深まったと思います。

次に集まるときは、もう報告会です。そこには、いろんな方々が見に来るし、市

長さんも来るのでとても緊張します。自分たちで作上げた報告書でニュージーランドをもっと知ってもらえたらいいなと思います。最後の大事な、10人全員でがんばります。



～帰国報告会（8/31）～担当：三小田芽衣

8月31日、6時半から「こども国際交流事業中学生ネーピア市派遣団」の帰国報告会が市役所9階会議室で行われました。報告会は、派遣団員が2つのチームに分かれて、研修で学んだことを写真、映像を使って説明したり市長からの質問に答えたりしました。最後に旅先での思い出スライドショーをみんなで観賞しました。

報告会は、市長や保護者への質問コーナーがあったり、歌を歌ったり、エアギターを弾いたり、楽しい報告会でした。

派遣団員は練習が1回だったにも関わらず、とてもスムーズに説明ができていて、大成功でした。



派遣団報告書



8月2日 オークランド空港から日本へ

苫小牧の姉妹都市
和光中学校3年 井戸 静星

私たちは飛行機を乗り継ぎ10時間以上の長旅を終え、ついにネーピア市に降り立ちました。飛行機から見たニュージーランドの風景は北海道の風景によく似ているように感じましたが、よく見ると白い斑点のようなものがそこら中にあります。さすがヒツジの国！ニュージーランドに来たという実感が湧いてきました。飛行機からネーピア市に降りた瞬間の空気や風はヒヤッとしていて、苫小牧の春や秋の気候に似ているように感じました。(若干冬寄り?) 苫小牧からとても遠い場所なのに、ここが姉妹都市だと思うと、なぜだかとても親近感が湧いてきます。

ネーピア市にはアールデコ調などのおしゃれな建物、何隻ものヨットが浮かんでいる港、そして海岸線に沿ってずっと続く砂浜があり、さらに町中に散らばっている美しい像や絵などのアート作品が町に彩を与えていました。映画で見るような、本当にきれいな景色。私はネーピア市をすぐに気に入ってしまいました。その中でも私が最も気に入った場所は、ネーピア市中心街のすぐ隣にあるブラフ・ヒルという丘です。あまり標高は高くありませんが、海と港、そしてネーピア市を一望できる場所でした。「地球は本当に丸かった！」と私も言いたくなるほど水平線がきれいに見えました。ただ、寒くてあまり長い時間いられなくて残念でした。

私のホストファミリーの家は、ネーピア市の中心街から20分ほど車で移動したところにありました。そこは中心街とは違い、広い平屋建ての家が連なっており、どの家にも庭があります。道路も広く、きちんと整備されたのびのびとした場所でした。しかし、無人島なのかというほど車も人も通らない。ホームステイ先での自由時間は家の前に広がる公園や住宅地を散歩したり、映画を観たりして過ごしましたが、どの空間にいても日本より時間がゆったりと過ぎているように感じました。

家の裏庭をのぞくと、なんとトランポリンとミカンの木が！日本の家庭との差を感じます。一緒にホームステイをした聖ちゃんとFatherと共に何個かミカンを探り、採りたてを食べました。酸っぱかったが、手が止まりませんでした。

ホームステイ中、MotherやFatherが色んなところに連れて行ってってくれて感じたことは、ネーピア市は中心街を離れると平野に道路があるだけの景色が永遠に続いている、ということです。平野には畑や防風林もあるのですが、やはり一番ヒツジの牧場が多かったです。北海道ではあまりヒツジを見かけないので、そのような平地を眺めるのも、外国に来た！という実感が湧いて楽しかったです。今回の経験は、私にとって最高の思い出となりました。ありがとうございました。



中学生ネーピア市派遣団に参加して

沼ノ端中学校3年 齊藤 鈴菜

私は今回、中学生ネーピア市派遣団の一員として、ニュージーランドを訪れました。

事前研修で、ニュージーランドのことを調べたり、交流のための準備をしていましたが私にとっては初めての海外だったこともあり、実際に行ってみるまでは不安でいっぱいでした。しかし、オークランド空港に着くと、これからの交流や出会いへの期待で、今までの不安がふき飛んでいきました。

私がネーピアで特に印象に残っていることは、まず、ブラフヒルからの景色です。海や港、ネーピアの街が一望でき、言葉では言い表せないほどきれいな景色を見ることができました。そして二つ目は、学校訪問です。ネーピアインターミディエイトスクールの学生さんが私たち一人ひとりに付いてくれて、学校の案内をしてくれました。日本の学校とは違い、校庭を囲うように学年ごとの校舎があり、学生さんたちは裸足になって遊んでいました。練習してきた文化の紹介もうまく出来て、自己紹介の英語も通じたようでうれしかったです。学生さんとたくさん写真を撮ることができて、忘れられない思い出になりました。

その後はいよいよホームステイでした。私はすごく不安だったのですが、ホストファミリーがすごく親切にしてくれました。ニュージーランド特有の英語の発音があり、なかなか聞き取ることができなかったのですが、ゆっくり、何度も繰り返し話してくれたので、会話を楽しむことができました。動物園や、ショッピングに連れて行ってきて、貴重な体験をすることができました。ホストファミリーとお別れしてからは、タウポやロトルア、間欠泉やワイトモ洞窟を見ることができ、ニュージーランドの自然に触れることができました。またマオリショーではマオリの伝統的な歌やダンスを見ることができました。オークランドでは、街のすぐ近くに海や山、広々とした公園があり、都会にいながら自然に触れられるすばらしい街だと思いました。

7泊8日の研修はあっという間でした。ニュージーランドの文化を身近に感じることができ、積極的に英語を話すこともでき、私自身、新たな一歩を踏み出すことができたと思います。

最後に、今回の研修に参加できたこと、そのために関わってくださった方々、また新しく出会った日本、ニュージーランド両国の学生、全てのことに感謝し、ニュージーランドで体験したことを忘れず、今後に生かしていきたいと思います。



I LOVE NEWZEALAND!

緑陵中学校 1年 三小田 芽以

私は今回のニュージーランドが初めての海外でした。事前研修が始まった頃はすごく不安でした。元々、自分から人に話しかけたり気持ちを伝えるのが苦手な「馴染めるのかな」と心配でした。今回の派遣の目標も「自分から」でした。でも、そんな心配は必要ありませんでした。優しく、面白い団員のお姉さん方、そして引率の大人の方がいてくれたおかげで本当に楽しかったし、良い意味で楽でした。そして、旅先で関わってくれたガイドさんやホストファミリー。何よりホストファミリーで優しく、温かい笑顔で出迎えてくれたダンカンとメディーは、全然英語ができなくて思っていることを伝えるのが苦手な私に、優しくうなずいて話を聞いてくれたり、怖がっていた私の緊張をほぐそうと頑張ってくれました。買い物に連れて行ってもらったり、絶景の海に連れて行ってくれたり、大好きなチーズを買ってくれたり、一緒に音楽を聴いたり、私の日本の話を一生懸命聞いてくれたり、寒いからと湯たんぽを渡してくれたりと、大切な思い出です。

ダンカンとメディーが本当に優しく、ホームステイは本当に楽しかったです。お別れするとき、二人が「Thank You!」と言ってくれて、涙が止まりませんでした。本当に一生忘れられない思い出です。

そして、この派遣でニュージーランドが大好きになりました。人の優しさ、文化、歴史、街並み、自然。まだまだ知らないことがたくさんありすぎて、ニュージーランドを出るときとても名残り惜しかったです。

外国では、言葉が通じない。だから、自分から積極的に話したりしないといけない。とても大変でした。でも、まわりの人がみんな助けてくれて、とても楽しい旅になりました。まわりの人がいなかったら楽しめませんでした。次は「自分から助けられる人」になりたいと思える、楽しく、幸せな旅になりました。



ニュージーランドの思い出
青翔中学校1年 原田 帆乃

私はニュージーランドに行ってたくさんの思い出や発見をしてきました。

まず、1日目。朝8時頃、市役所に集合し、出発セレモニーをした後新千歳空港に向かうためにバスに乗りました。今まで、2、3日は家族と離れたりすることはありましたが、8日間も同じ国ですらない所まで行き家族と離れることは一度も無いので、とても不安でした。でもバスや飛行機に乗っているときに、団員の友達が励ましてくれたのでとても心強かったです。機内泊でそのまま一夜を明かし、2日目になりました。この日はネーピアで水族館に行ったり市内を散策したりしました。水族館では、ニュージーランドの動物のキーウィを見たりアールデコの街並みを見たりと、とても勉強になりました。

次に、3、4日目。3日目はネーピア市役所に行って市長さんの話を聞いたり、図書館やスーパー、学校にも行きました。学校では私達一人ひとりに生徒さんが付いてくれて学校を案内してくれました。発音が少しなまっていたり、英語が分からなくて多少困りましたが意外となんとかになって良かったです。学校交流の後は芽以ちゃんと二人でネーピアポイズハイスクールに行ってホストファミリーの家へ向かいました。ホストファミリーには5、6ヶ月の赤ちゃんがいてとてもかわいかったです。4日目は、アラタキハニーセンターに行ってハチミツの試食や生きた蜂を観察したりした後、お別れパーティーに行きました。事前研修で何度も練習した歌やダンスの披露はとても緊張しましたが、大成功でした。

5、6日目。5日目は、ホテルでホストファミリーとお別れした後タウポ湖やフカ滝を観光しました。ロトルア湖の側にはジャンボ滑り台があって芽以ちゃんと莉央ちゃんと三人で二回も滑りました。ホテルではマオリショーも見ることができてとても楽しかったです。6日目は、マオリ村や間欠泉、ワイトモ洞窟に行きました。マオリ村ではマオリ族の文化を知ることができたし、間欠泉ではガイドさんも驚くほど高く噴き上がったのを見ることができました。

7、8日目。7日目は、スカイタワーや博物館などの観光に行きました。博物館では戦争記念碑がありニュージーランド人の戦争に対する強い気持ちを感じることができました。

私は、この国際交流事業に参加できたおかげでニュージーランド人の心の広さを学ぶことができました。ですが、この企画に参加できたのは様々な人の苦勞のおかげです。なので、どんなことも当たり前だと思わず感謝の気持ちを持っていきたいです。



国際交流事業に参加して
啓北中学校2年 松本 蒼依

私たち、中学生ネーピア市派遣団は市の代表として、8日間、ニュージーランドを訪問しました。ニュージーランドではホストファミリーと過ごしたり、観光地を巡ったりなど、とても楽しかったです。

まず、ニュージーランドに着いて1日目はネーピア市を観光しました。水族館やパニア像、有名なアールデコの街並みを見てきました。ネーピアには一階建ての家が多かったですが、とてもかわいらしい家ばかりでした。

2日目は、ネーピア市の市長さんに会いました。とても優しい方で、自分の車の写真を見せてくれました。その後、学校に行きました。やはり外人だからなのか、すごくフレンドリーで仲良くなりました。

3日、4日目はホストファミリーと過ごしました。私のホストファミリーは人数が多くとても賑やかでした。映画館や動物園、ハニーランドなどたくさん連れて行ってもらいました。日本から持ってきたお土産も喜んでくれました。

5日目は、マオリ村と間欠泉を観ました。マオリの知らなかったことがたくさんでびっくりしました。間欠泉はガイドさんも驚くくらい噴きあがって、とても感動しました。

6日目は、オークランドを観光しました。博物館でニュージーランドのことをたくさん知れました。スカイタワーも景色がすごくキレイで想像以上でした。

今回、この研修で中学校生活では味わうことのできないたくさんの貴重な経験をさせてもらいました。私は研修を終え、一つの目標ができました。それは、今回ニュージーランドを訪問していなかったらできていない目標だと思います。こども国際交流事業に参加した経験を今後役に立てることができるよう、目標に向かって頑張りたいと思います。



ニュージーランドの研修を終えて
和光中学校2年 山本 舞羽

この研修で一番感動したこと。それは、フレンドリーに接してくれるニュージーランド人がとても多かったことです。

「Where are you from?」と店員さんが声をかけてくれ、「I'm from Japan.」と答えると「コンニチハ。」と言葉を返してくれる人や、「What is the Japanese for “welcome” ?」と質問してくれる人、「I hope you will have a good trip.」と言ってくれる人がたくさんいました。学校訪問では、生徒のみんなが私たちの自己紹介を笑顔と大きなリアクションで盛り上げてくれ、私たちを囲みたくさんの声をかけてくれました。ホストマザーは自分の両親や妹家族まで紹介してくれて、三歳のエマ、六歳のルーク、九歳のサムは、私があやとりを披露すると、「It's magic!」と言ってとても喜び、どこからか毛糸を持ってきて、「Please tell me!」と私のところに走ってきました。そして、4人で指輪落としや指ぬきをして遊びました。

ホームステイ2日目には、園内全ての動物と触れ合うことが出来る動物園に連れて行ってもらいました。動物たちはみんな柵から身を乗り出し、鶏は、ずっと私たちの後ろをついてきます。ニュージーランドは人だけでなく、動物もフレンドリーなのだ！と嬉しくなりました。

ニュージーランドの人たちのフレンドリーさは、私の不安や心細さを払拭し、楽しい思い出をたくさんくれました。ただ、一つ心残りが。それは、自分の思ったことを十分に英語にして相手に伝えることが出来なかった事です。事前に必要になると予想できる英語表現は勉強していたけれど、何気ない会話のなかで思ったことや感じたことをうまく英語にできず、「It's cute.」「It's delicious.」「It's cool.」といった簡単な言葉でしか伝えることができませんでした。本当であれば友達や家族と話すように、一つの話から話を広げられるような会話をしたかったです。そうすれば、もっとお互いを理解することが出来たと思います。言葉にできる力、英語に変える力がまだまだ足りないと感じました。それらの力は簡単に身につくものではないからこそ、これからは今まで以上に勉強に精力的に取り組んでいきたいと思うようになりました。そして、次にニュージーランドに行くときには冗談も言えるほどの英語力を身につけ、思ったことを英語で正確に伝えられるようになりたいです。



笑顔は最大のコミュニケーションツール

青翔中学校2年 山本 菜々美

私はこのニュージーランド研修を経て、たくさんの刺激や感動を受けました。中でも最も強く感じたことは「笑顔」です。

ホームステイ先では、やはり言葉の壁にぶつかりました。学校の授業でしか外国の方と話すことがなかったので、話す速さや発音が聞き取れず相手の表情やジェスチャーでも、読み取る事ができませんでした。私は不安と焦りで、大好きだったはずの英語で自信を無くしてしまって、自分から笑顔が消えていってしまいました。

でも、ホストファミリーの方に、滝や山などネーピアの自然の場所に連れて行ってもらった時、とてもキレイな景色と澄んだ風を浴びた時に、ふと「きっと、この世界の共通言語は、英語ではなくて笑顔なんだ！」と、「笑顔は人と人を繋げるコミュニケーションなんだ！」と思いました。

私はこの言葉を信じ、ホストファミリーの方に笑顔でたくさん話しかけてみました。すると、相手の方にも心が通じたのか、ホッとした様子で優しい笑顔が返ってきました。お別れの日と一緒に撮った笑顔の写真は私の一生の宝物です。

ニュージーランドの観光は本当に素晴らしいものでした。ネーピアには自然がたくさんあり、日本で聞いた事のない野鳥の鳴き声やアールデコのカラフルな街並みもとてもキレイで印象的でした。学校訪問では皆とても明るく「ハカ」を見せてくれたり、皆で楽しく写真を撮れたことがうれしかったです。ロトルアでは実際にマオリショーを見たり、私が一番感動したのは毎秒20万リットルも流れるミントブルーの色の「フカ滝」です。流れの速さも見ごたえがありました。間欠泉もとても高く上がり、ワイトモ洞窟の土ボタルの光が幻想的でした。オークランドは大都市とあって、高層ビルが多くスカイタワーからの眺めは絶景でした。

今回の研修では、楽しい事がたくさんありましたが、辛かった事もありました。でも、この辛さを乗り越えた後にはさまざまな感情や想いが芽生え、私を成長させてくれたと思います。これから先、色々な辛い事、苦しい事があると思いますが「きっと乗り越えられる」という強い気持ちと自信がつきました。

最後に、大人になったらまた海外旅行へ行く機会があると思いますが、それまでに英会話をしっかり勉強しておきたいと思います！

“ニュージーランド研修、本当に沢山の思い出をありがとうございました！！”



苫小牧市こども国際交流事業に参加して
勇払中学校3年 渡邊 莉央

私が今回ニュージーランドに行って学んだことはたくさんあります。今までは家族にまかせっぱなしでしたが、今回は全部一人でやらなければならないので大変でした。ですが、将来のためのよい経験になったと思います。ニュージーランドに行ったらたくさん英語を喋ろうと思っていましたが、いざ外国人と向きあうと緊張して単語しか口に出すことができませんでした。しかし、身振り手振りで伝わったことがたくさんあったのでよかったです。

そんな中で私が特に思い出に残っているのは、ホームステイと学校訪問です。

ホームステイでは、ネーピアの街をドライブしたり、少しだけボーイズ・ハイ・スクールのラグビーをみたり、バギーで牛や羊を見に連れていってくれました。この日は快晴だったので海が水色でとてもきれいでした。また、ラグビーが盛んな国でラグビーを見ることができてわくわくしました。午後からは牧場に行きました。羊にミルクをあげたり、バギーに乗って広い牧場をまわったりと、普段できない体験ができてよかったです。夜には家に飾っている本物の鹿の剥製を見せてくれました。迫力があり、すごかったです。ニュージーランドでしかできないことをたくさん体験させてくれたモーリスさん一家に感謝しかないです。私を温かく迎えてくださり、ありがとうございました。

もう一つの思い出は学校訪問です。日本の学校と違う所がたくさんあって刺激を受けました。ヤスミンという女の子が学校を案内してくれました。手紙もくれてうれしかったです。交流の時間には歌を披露してくれました。みんな歌声がきれいでずっと聞いていたかったです。また、男の子たちがハカダンスを踊ってくれました。子供でも迫力がすごかったです。これに負けないように私たちも頑張りました。日本の伝統文化にとっても興味を持ってくれたので、今まで練習した甲斐がありました。私たちと同じ世代の外国人と話す機会は今後あまりないと思います。貴重な体験ができてうれしかったです。

今回、たくさんの人たちとコミュニケーションをとれてうれしかったです。私は、優しくて温かい人たちに囲まれて、幸せ者だなと感じました。日本とは違うことがあって困ったりしましたが、団員と乗り越えられてよかったです。個性の強い仲間ですがこのメンバーで行けてよかったです。また、ニュージーランドに行きたいです！

団員のみんな、引率者の方々、家族のみなさん、ありがとうございました。



美しいネーピアと最高のホームステイ
光洋中学校2年 綿貫 陽香

半日近くを国際線の中で過ごし、ついにニュージーランドに到着！到着口には大きなマオリの彫刻と「Kia Ora」の文字がありました。お菓子の自動販売機があって、中には見たことのない外国のお菓子が並んでいました。何もかもが珍しい中で、一番印象に残ったのが、空港の職員さんたちが他の職員さんと楽しそうにおしゃべりをしながら仕事をしていたことでした。私語をして怒られてばかりの私達とは、全然考え方が違うのかな、と思う瞬間でした。

ネーピア市内を移動するバスからは、たくさんの日本車と、紙の原料として輸出されていくらしい、丸太の山が見えます。過去の大震災から立ち直る過程で築かれたというアール・デコの街並みは、建物だけでなく、街にあるオブジェや建物の中の絨毯まで、何もかもがアール・デコで、とてもおしゃれでした。

翌日、私達はネーピア市庁舎へ表敬訪問に向かいました。市長さんはとてもフレンドリーで、私達にコレクションのアンティーク車の写真を見せてくれたりしました。通訳の方や議員さんたちも皆笑顔で接してくれて、この国は本当に笑顔で仕事をする人たちばかりだな、と強く印象に残りました。市役所を訪問した後は、市内の学校で中学生たちと楽しく交流し、いよいよホームステイが始まりました。

ホストファザーの James が迎えに来てくれて、私のスーツケースを運んでくれました。家の中に入ると、2匹の大きなダルメシアンが私を歓迎！ホストマザーの Tachaya はタイ出身の女性で、私にたくさんの質問をしてくれました。話が通じずに困ったときは、メモ帳に絵を描いたり、地球儀を使って、指さして話したりしました。元々、「言葉が通じなくてもどんどん話しかけるぞ！」というつもりで来てはいたけれど、Tachaya がこうして色々工夫をして、私に伝わるように頑張ってくれていて、私も何とか伝わるように頑張っていて、一つの会話が成り立つ度にこんなにも楽しい……。この経験は、この旅の中でも特に貴重だった気がします。普段はここまでコミュニケーションの一つひとつに手を尽くしたりしないから、ちょっと言い方がまずかっただけで、誤解されたり、傷つけあったりしてしまうこともあります。言葉だけに頼りすぎてしまっているのかもしれない。コミュニケーションで一番大事なのは、こんなふうに、なんとしても相手を理解しようとするお互いの努力なのではないかな、と思うことができました。

ホームステイを終えて、ネーピアを去る朝はよく晴れていましたが、とても寒かったです。この後に訪れたロトルアやオークランドも素晴らしい町でしたが、たくさんの出会いがあったネーピアは特に印象に残りました。私達の姉妹都市は本当に素晴らしいです。いつかまた彼らに会えるよう、町同士の友情がずっと長く続くことを願っています。



帰国報告会

平成29年8月31日、ネーピア市派遣団は3ヶ月に渡る事業の集大成として、市長や保護者に向けて帰国報告会を開催しました。

5人ずつ二つのグループに分かれ、研究・発表した内容を紹介します。

グループA

STARS☆

荒井 聖 井戸 静星
三小田 芽以 山本 菜々美
綿貫 陽香

NEW ZEALAND
仰天ニュース!!!

羊が一匹、羊が二匹・・・



人口 476 万人に対し、
なんと羊の数は 3,190
万頭!!一人に対し約 7 頭
いる計算になります。



これ、なんだと思いますか？
正解は、手洗いの後に使うハ
ンドドライヤー。日本とは全
然形が違いました。

これはなんでしょう？





アールデコ様式の建物が建ち並び、街はとってもキレイ！苫小牧にもこの様式の建物が一つあるんですよ。皆さん分かりますか？



私たちは、ナーピアにある「Napier Intermediate School」を訪問しました。男女共学の中学校で、全校生徒は約 500 人です。



訪問した時間はちょうどお昼休みで、生徒が私たち一人ひとりに付いてくれ、学校の中を案内してくれました。

快適そうな図書室があって、たくさんの生徒が過ごしていました。なんと、読書だけではなく、ボードゲームやパソコン、おしゃべりもしてとてもにぎやか！日本の図書室との違いに驚きました。

授業体験では、生徒たちがマオリの伝統的な歌と校歌を謳ってくれました。校歌はなんと踊り付き！歌詞はよく理解できませんでしたが、リズムや歌の構成に異国の雰囲気を感じました。



サプライズで、男子生徒たちがマオリの伝統文化であるハカダンスを踊ってくれました。迫力満点で、とてもカッコよかったです。

アイスクリームもたくさん食べました。一番有名なアイス“ホーキーボーキー”は絶品です！



ニュージーランドのマクドナルドは、同じようで少し違います。コーラは日本で飲むものより甘く、ポテトはしょっぱかったです。



ステーキが毎回のように出てきて、お腹いっぱい！ホームステイ先では、フライドフィッシュとポテトが出ました。



グループB RIORIO

齊藤 鈴菜 原田 帆乃
松本 蒼依 山本 舞羽
渡邊 莉央

NEW ZEALAND に イッテQ！！

アールデコ様式は、1910～30年代に欧米で流行した建築様式で、1931年のホークスベイ地震によるまちの再建の際にたくさん建築されました。とっても美しい街並みですよ！





海岸にあるパニア像は、まちの記念撮影スポットになっています。



とても透明度が高く、キレイな湖でした。湖畔に落ちているシーグラス探しに夢中になりました。



ポフツ間欠泉では、30分待ちガイドさんも驚きの蒸気を見ることができました。



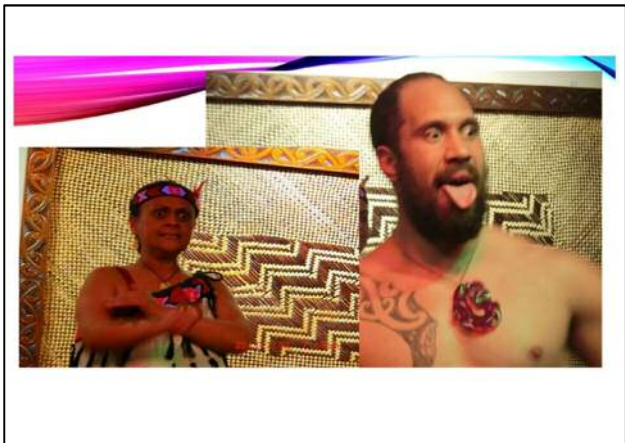
橋の下を流れる圧倒的な水量に一同オロドキました！



南半球で最も高いスカイタワーです。海や街の景色が一望できて、とてもキレイでした。



ホテルの夕食会場で、マオリの伝統舞踊ショーを見ることができました。迫力のハカダンスやポイダンスは、私達も一緒に踊ることができました。



ニュージーランドの家は平屋が多く、ゆったりとした時間が流れていました。

今までにない程英語尽くして、発音の違いに戸惑いました。でも、ホストファミリーが優しく話してくれ、とても楽しむことができました。



～ニュージーランドの家～

- ・平屋が一般的
- ・日本より比較的敷地面積が広い
- ・シャワーと浴槽が別
- ・シャワールームが独立している

～感想～ホームステイを経験して

発表の様子



みんなお疲れ様でした！

平成29年度苫小牧市こども国際交流事業
中学生ネーピア市派遣団報告書

平成30年2月発行

総合政策部 政策推進室 市民自治推進課

〒053-8722 苫小牧市旭町4丁目5番6号

TEL 0144-32-6157 (直通)

<http://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/siminjiti/>